



# ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2009年（平成21年）11月15日号 No. 1479

## 目次

■2009年1～9月のロシア経済 —回復は本物か?—	1
■トピックス	9
TOAのロシア販売拠点／9	
三菱商事がロシア自動車輸入卸売会社に出資／9	
ポーラ、サンクトペテルブルグに進出／9	
メドヴェージェフ大統領が教書演説／9	
■エトセトラ	11
「サハリン州プレゼンテーション」中止のお知らせ／11	
メールの送信ミスに関するお詫び／11	

## 2009年1～9月のロシア経済 —回復は本物か?—

### はじめに

本誌7月25日号（No.1469）では、鉱工業部門の統計データを手掛かりに、ロシア経済の「底入れ」に関する観測をお伝えした。その後、ロシアの統計指標はさらに改善の方向に向かっており、11月12日に発表された第3四半期のGDPは前期比で13.9%増（季節調整値では0.6%増）を示している。はたして、ロシア経済の回復は本物だろうか？

そこで今回の速報では、ロシアの最新のマクロ経済統計を取りまとめて紹介し、若干のコメントをお届けする。また、後半部分では鉱工業生産の統計を詳しく取り上げる。

### 第3四半期GDPが前期比でプラスに

2009年1～9月のロシアの主要経済指標は、表1に見るとおりである。GDPは、1～9月という形では統計局からはまだ正式に発表されておらず、表1に示した▲10.0%という数値はロシア経済発展省による推計値である。いずれにしても、1～9月というスパンで見れば、ロシア経済は引き続き大幅なマイナスということになる。

しかし、四半期ベースで見ると、ニュアンスが変わってくる。四半期GDPの推移を、図1にまとめた。ロシア統計局が11月12日に発表した2009年第3四半期（7～9月期）GDPの速報値は、前年同期比▲8.9%であり、依然として前年の水準を大きく割り込んではい